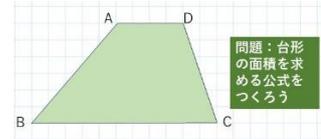


【小学校】第5学年・算数「四角形と三角形の面積（台形の面積）」（1／2時間）

ねらい：三角形、平行四辺形の面積の求め方を活用し、台形の面積の求め方を考え、それを「上底・下底・高さ」の言葉を使った式で表すことができる。

活用のポイント

- ・家庭学習を授業で生かしたり、授業で考えたことを家庭学習に生かしたりできる。そのために、ワークシート（紙面）かデジタル教科書のいずれかを選択し、自分の考えをもつ。
- ・デジタル教科書をスクリーンショットし保存することで、考えの過程を記録したり、互いの考えを共有したりできる。



機能：作図、書き込み、保存、共有（Googleドライブ等）、学習支援ソフトで配信（Google Classroom、Teams等）、学習計画・振り返りシート（Excel等）、ホワイトボードで考えの共有（PowerPoint、FigJam等）

学習課題	学習の仕方
1 台形の面積を求めよう。	【課題学習】ワークシートやデジタル教科書を使って自分の考えを求めよう。三角形や平行四辺形の面積の求め方を活用して、たよめる。
2 どの求め方を紹介しようか。	【課題学習】学習のみんなに紹介する求め方を1つ選び、保存する。
3 グループ①の友達に自分の考えを伝えよう。	【グループ①】2で決めた方法を、採択したデータを使って発表する。
4 グループ②で1	【グループ②】「上底・下底・高さ」

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例等
終前時	一斉 学習の流れの理解	・デジタルの「マイ学習カード」（学習計画・振り返りシート）を見て、学習の進め方、自己評価の方法を把握する。
事前準備（家庭学習等）	個別 個人の考えをもつ デジタル教科書を使い、図形を多様に切り考えることができる。（児童） 課題をデータで提出する。	・ワークシートかデジタル教科書のいずれかを選択し、求め方を書く。 ・デジタル教科書の場合はスクリーンショットで、ワークシートの場合は写真を撮り保存する。 ・伝えたい求め方を1つ選び、データ（デジタル教科書のスクリーンショット、ワークシートの写真：以下同様）で提出する。
準授備業	既習事項を生かし、試行錯誤しながら問題に取り組み、複数の考えを保存できる。（児童） （教師）・考えの同じ者同士のグループ①（A, B, C, D, …）を編成する。 ・課題のデータを学級の児童が閲覧できるようにフォルダを共有化する。	
導入	グループ 考えの共有話合い 課題：台形の面積を求める公式（言葉の式）を作ろう 1 グループ①で考えを互いに理解する。 同じ考えのグループで話し合うことで、自分の考えに自信をもって取り組むことができる。（児童）	・データを見せながら自分の考えを説明する。 Aグループ Bグループ Cグループ Dグループ
展開	グループ 適用問題	2 グループ①で適用問題を解く。
	一斉 言葉の確認	3 公式を導くための言葉を確認する。
	グループ 話合い	4 グループ①で文字の式をつくる。 手作業に比べて誤差が少なく加工でき、考えの助けとなる。（児童） 5 次時に異なる考えの友達に説明する準備をする。
まとめ	個別 振り返り	6 グループ活動について振り返る。 次時への必要感をもって、考えを説明できる（児童） ・共有ファイルに学んだ内容と振り返りを書き込み、友達と共有する。

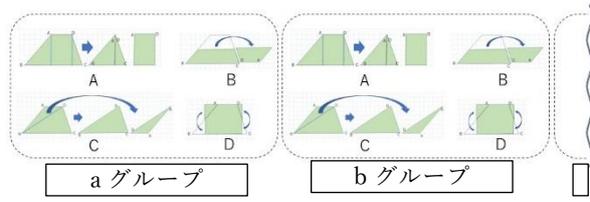
$$\text{面積} = \frac{(\text{下底} - \text{上底}) \times \text{高さ} \div 2 + \text{上底} \times \text{高さ}}{\text{三角形} \quad \text{長方形}}$$

【小学校】第5学年・算数「四角形と三角形の面積（台形の面積）」（2／2時間）

ねらい：「上底・下底・高さ」の言葉を使った式をから台形の面積を求める公式を考えることができる。

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例等
準備業	(教師)・考えの異なる者同士のグループ②(a, b, c, d...)を編成する。 ・課題のデータを学級の児童が閲覧できるようにフォルダを共有化する。 ・ホワイトボードをグループ①の児童間で共有化する。	
導入	グループ 話し合い 課題：台形の面積を求める公式を考えよう 1 グループ②で考えを説明する。	・加工したデジタル教科書のデータを見せながら考えを具体的に説明する。 
		グループ①で前時に求め方を考えた上で、他者に説明することで、自信をもって具体的に伝えることができる。(児童)
展開	2 台形の面積の公式を考える。	・交換法則、結合法則、分配法則を振り返る。
	グループ 話し合い 3 グループ①で台形の面積の公式を考える。 同じ考えのグループで話し合うことで、安心して試行錯誤できる。(児童)	・自分たちが考えた言葉の式にある加算や減算は()の中に入れた式になるように書き換える。 ・自分の考えを加えたデジタル教科書とホワイトボードを使うことで、図を見ながら式を考えられるようにする。
		他の友達の考えを見ながら(ファイルの共有)公式を考えることで、ヒントを得ながら考えることができる。(児童) 児童の進捗状況やつまづきを手元の端末で把握し、適切に助言できる。(教師)
	4 変換した式の確認の後、公式を導く。	・どのグループの式も台形の面積の公式に帰着することを確認する。
5 適用問題を解く。	・様々な台形でも使った公式になるか確かめる。	
6 知識の整理とグループ活動等について振り返る。	・共有ファイルに振り返りを書き込み、友達と共有する。 多面的に考えるよさに気付いたり、公式を使うよさを実感できたりする。(児童)	
まとめ	7 ひし形の面積の求め方と公式を考えることを提示する。	・家庭学習で、デジタル教科書を使って、ひし形の面積の求め方を書き、その公式を考える。
	個別 個人の考えをもつ ひし形の面積の求め方と公式を考える。	・共有フォルダからデータを利用して、既習事項を基に、デジタル教科書やワークシートを使ってひし形の面積を求める公式について自分の考えをもつ。
家庭学習		デジタル教科書や共有フォルダを使うことで、授業中の友達の考え方を確認でき、ひし形の面積を求めながら台形について学習した授業の復習ができる。(児童)